

2022年度「子ども第三の居場所」実施・募集要項の概要

子ども第三の居場所とは

子どもたちの困難は家庭や学校だけでは解決が難しく、そもそも困難が家庭や学校に起因する場合も少なくありません。
 「子ども第三の居場所」は、子どもたちが孤立しやすい放課後の時間に、家庭や学校以外の場で、信頼できる大人や友達と安心して過ごし、将来の自立に向けて「生き抜く力」を育む場です。

実施内容

子どもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感、人や社会と関わる力、生活習慣、学習習慣など、将来の自立に向けて生き抜く力を育みます。



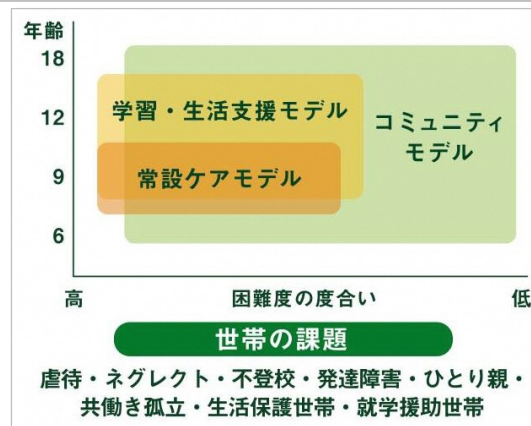
募集対象等

- 対象となる団体
 - ①海洋センター所在自治体で2020年度海洋センター評価がA以上の自治体 ※すでに「子ども第三の居場所」設置自治体も対象
 - ②海洋センター所在自治体以外の市区町村
- 対象となる事業
 - ①「子ども第三の居場所」開設事業
施設の新築、改築、増築および施設に設置する家電・什器等の設置など
 - ②「子ども第三の居場所」運営事業
居場所の運営
- 対象となる事業期間
助成決定後～2023年3月31日
※最長3年間の運営助成を行い、4年目以降は自治体による継続運営
※工事等で期間内に事業が終了しない場合、事前にご相談ください。
- 募集する居場所数
30ヵ所程度
- 申請期間（設置意思確認書提出期間）
2021年8月2日～2021年9月10日
※提出が間に合わない場合、事前にご相談ください。



支援・助成内容

展開モデル	常設ケアモデル	学習・生活支援モデル
実施内容	子ども一人ひとりに、手厚いスタッフ体制のもとで、学習支援や基本的な生活習慣を身につけるための生活支援、豊かな体験機会の提供等を行う。	既存の「学習・生活支援事業」の拡大な学習支援に加えて、基本的な生活習慣を身につけるための支援などを行う。
実施頻度	週5日以上（放課後の時間帯 週25時間以上）	週3～4日（放課後の時間帯 週9時間以上）
対象	経済状況や家庭環境に課題を抱える小学生（主に小学校低学年を対象とするが、兄弟姉妹利用等により小学校高学年の受け入れも可）	経済状況や家庭環境に課題を抱える小学生（主に小学校低学年を対象とするが、小学校高学年や中高生の受け入れも可）
人数	1日定員20名以上	1日定員7名以上
スタッフ	マネージャー（フルタイム）1名以上ほか計4名以上	マネージャー（フルタイム）1名以上ほか計3名以上
運営費助成	月額80万円～120万円	月額60万円～80万円
開設費助成	3,000万円～5,000万円程度	3,000万円～5,000万円程度



※B&G財団では「コミュニティモデル」の募集は行いません。